

■ 平成23年度 町政懇談会 いきいき・ふれあいトーク 意見交換の主な内容

No	参加者の意見・質問・要望・提案の要旨	町からの回答・意見の要旨 (※後日の回答及び対応を追記しています)
7月27日 いきいきシルバー・ふれあいトーク		
1	<p>・朝日公園。菖蒲の花が少なくなり残念な状態になっている。国道に大きい看板までであるのに来る人に失礼な状態だ。専門家をお願いして、植え替えなどして以前のようにきれいに咲かせてほしい。</p> <p>(同様の意見、8月9日いきいき女性ふれあいトークでもあり)</p> <p>・記念植樹で桜もたくさん植えている。今頃桜がいっぱいの山になっているはずなのに、さっぱりだ。なんか中途半端だ。</p>	<p>・公園で開催する観光行事がなくなったりして人の足が遠のいてきた。その分、手もかけなくなってきた。中途半端にやるのならやめなさいという意見もあるが、やめるには忍びない。</p> <p>・菖蒲園は、羽幌の観光でいい役割をはたしていると思う。いろいろな意見があるが、菖蒲園のありかたについて、きちんとした方向を決めなくてはならないと思っている。</p>
2	<p>・上築集会所のテレビ、地デジのチューナーを買おうとしてもないので困っている。(老人クラブのテレビ)助成する余裕ないか？</p> <p>・川北老人福祉センターのテレビは地デジ化したのか？</p>	<p>・今、町全体でなかなか手に入らない状態と聞いているが、老人クラブの備品は老人クラブで対応をお願いします。</p> <p>・川北老人福祉センターのテレビは町の備品なので地デジ対応している。町の備品のテレビは地デジ対応は済んでいる。</p>
3	<p>【老人憩いの家の備品や設備について】</p> <p>・老人憩いの家のカラオケセット、マイクがだめになっているのでどうにかしてほしい。</p> <p>・芸能発表大会の練習にも使う。カラオケのマイクの性能が悪く、先生も苦労している。</p> <p>・老人憩いの家はイスも個人から寄付されたもの。町からはぜんぜんなんもしてもらっていない。</p> <p>・スマイルボウリングに使用するとき、和室にコンパネを6枚敷いてやってるが、大変。畳の一部でもいいから板敷きにしてほしい。できれば、畳を全部とってフローリングにしてほしい。畳も古しい、じゅうたんも20年も使っている。</p>	<p>・カラオケセットは老人クラブに寄贈されたものだが、マイクが修理不能の状態となっている。最近ではふるさと納税や、使い道を指定した個人からの寄付などもあり有効に活用させていただいている。</p> <p>・イスについては、老人福祉センターに町でイスを購入の際、憩いの家にはすでにイスがあったので買わなかった。</p> <p>・憩いの家は老人クラブのみなさんで使っている施設。施設や備品についてはみなさんでよく話し合っって意見をひとつにまとめて要求していただければ、相談しながら検討します。</p>
4	<p>・ゲートボール場のトイレ(南町テニスコートのトイレ)を水洗にしてほしい。年2回管内の大会もある。ちびっこ野球の大会などでも使っていると思う。においもひどい。</p>	<p>・公共施設の水洗化は、計画的に工事をしている。環境衛生を進めており、役場の施設はしなくてはならない。水洗化します。(※9月補正予算で対応、今年度中に水洗化します)</p>
5	<p>・元幌北小学校、中にトロフィーとか使っていたものがいっぱいある。どうにかできないか。</p> <p>・教育委員会が管理していたときに、ゲートボールに使用していた関係で、老人クラブで鍵を預かり、正面は草を刈っている。思い出の人とか、懐かしがってる人とか来て、中に入ることがあるが、見苦しいので、なんとかしてほしい。</p>	<p>・とっておくべきものか、処分できるものかはっきりさせる必要がある。状況を調べて対応します。</p> <p>(※保存すべきものは教育委員会で別に保管している。不要と判断されたものがおいてあるが、処分するには費用もかかるためそのままにしていた。後日、現地を確認の上、残っている物品については一室に集め、施錠して人目につかないよう配慮し、対応済)</p>
6	<p>・羽幌のお祭り。御輿や獅子、踊り、すごく感激する。羽幌の一大イベントだが、加賀獅子などの団体の支援に町はタッチしないのか？</p>	<p>・誇れる祭りで、お祭りを羽幌の売りにできないかということも議論にでている。基本的には団体でということだが、郷土芸能として守っていくべきものと思う。</p> <p>・すぐさま、加賀獅子に補助を出すということではないが、守っていくべきものとして、どういう守り方があるのかということ。こきりこなどと同じと思うが、考えていきたい。</p>
7	<p>・町道の草刈。年に何回刈っているのか。1回目の草刈が遅い。イタドリや大型雑草が伸び、道路を覆ってくると、カーブや出入口が見えづらい。一時停止の線などで止まっても、視界が狭くなり、周囲が見えづらい。</p>	<p>・冬の除排雪を民間委託しているが、道路管理もこの7月から民間委託している。町道の草刈は年2回の実施だが、今年度は契約の関係から1回目の実施が遅れた。今後はパトロールを徹底し、的確な時期に実施していく。</p>
8	<p>・中央から川北にかかる橋。(スキー場方面へ行く奥の橋)その両サイドが雨が降ると、10センチ以上水がたまる。夏はいいが、秋に凍ると横滑りなど危険。町道になっていると思うが、草も刈ってくれないし、もっと親切に町は考えてくれてもいいと思う。</p>	<p>・冬の除排雪を民間委託しているが、道路管理もこの7月から民間委託にしているが、状況を調べ委託業者にきちんと伝えていきたい。</p>

9	<ul style="list-style-type: none"> ・国道の築別の橋について、橋の幅が狭く車がすれ違うのにぎりぎり以前から問題との声があがっているが、その後どうなっている？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年6月に開発との懇談の中でも話題に上っている。地道ではあるが、少しずつ確実に改良に向けて進んでいる状況にある。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・旧道立病院の跡地はなにか計画あるのか？ ・火葬場も建設中だが、あそこは浜風ですごいと思う。建物の建設が決まったら、その周辺に木を植えるなど、景観も平行してやるべき。木はタモの木が一番いい。一番風に強い。エンジュもいいが成長が遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道立病院跡地は都市計画の中で何をやるとは決まっていない。 ・工事については外構工事が最後の発注になるのが一般的。そういうことが可能かも考えながらひとつの意見として聞いておきたい。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・国道大通りの商店街に駐車帯、スペースできないか？ 5メートルの歩道だが、歩道狭くしてでも、車道に車止めておけるようにできないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・機会があれば開発局へ要望したい。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・道立病院の周辺道路の花壇、花もなく、草ぼうぼう。 羽幌の玄関口なのだから、きれいにすべき。ボランティアでもなんでもあるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見として聞いておきたい。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・シカの駆除、なにか方策とれないだろうか。 ・ハンターに対しシカ一頭捕っていくら出しているのか？ 残滓の処理が大変と聞く。 ・ハンターを養成する考えはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全道的な問題で、大きな課題。抜本的な策がない。 電牧の設置を続けてきたが、大体のところ囲われてきた。しかし、シカも電牧をさけるようになってきた。道もシカを捕まえる対策を講じている。 町としてできることを、他になにか考えないとなくなっている。 ・今は1頭いくらではなく、猟友会と年間の委託契約をしている。駆除のほかに残滓処理については猟友会と話し合い、今は改善されている。 ・ハンターの高齢化の問題もある、ハンター育成への補助も一昨年から予算化しているが、なかなかやる人がいないのが実情。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・羽幌も合宿誘致をインターネットなどでやってはどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今、羽幌町でも実施している。 今年度はラグビーと野球が主だが、宿泊費の一部を補助するなどの支援をしている。 羽幌町ホームページにも掲載して取り組んでいる。
8月9日 いきいき女性・ふれあいトーク		
15	<ul style="list-style-type: none"> ・羽幌のお祭り、土日の開催にしてはどうか。 宗教上の問題があるのはわかっているが、町外客もあり盛り上がる。 東北などは宗教から変わってきている。参加する生徒や学生も学校をやすまなくてすむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽幌町の祭りとしてとらえてはどうかということはあるが、基本的には祭りは宗教行事。あれだけの規模の祭り、特に神社に入る前の練りあいなどはなかなか他では見ることはできない。地域の誇れる祭りとして、保存したりPRしたりすることが論議されている。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場の夜間照明のこと。 夜、ほとんど利用者いない。一般的に夜間の利用はどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の利用者がほとんどいないので、夜間照明は無駄に使われているという声が多く、この春から、常時点灯をやめ、使うときだけ点灯するように効率のよい手法に変更した。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場の協力金のことは、たまにしか行かない人はわからない。浸透していないのでは。 ・毎日利用している人がけっこういるようだが、毎日入れているのか？ どのくらいの人がきちんと協力してるのか？ ・協力金はパークゴルフ場のために使われるんですよね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力金は、最初は80万近い金額集まったが、年々減って、今は30万にもいっていない。集まった協力金はパークゴルフ場のために使われるので、善意の良心から考えてご協力いただければと思う。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場の夜間照明が常時点灯でなくなったことに関連するが、サッカー少年団で自転車を利用している子どもたちについて。サッカー場はスポーツ公園の奥にあり、パークゴルフ場付近は砂利道だし、午後8時までの練習で、遅い時間は暗くなる危険。最近では熊の出没もある。秋になると日も短くなるし、なんとかならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習で暗くなって帰る少年団は他にもある。サッカーだけではなく、全体的な問題として考えてみる。施設管理の問題もあるし、スポーツ少年団の対応もあると思う。 ・当面の対応として、子どもの安全について配慮するよう少年団に要請、照明など設備については、利用状況や電源確保の問題もあるため、今後の課題として検討します。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の自転車マナーが悪い。ライトをつけずに乗っている子どもも多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通マナーは家庭でも、学校でも教えなくてはならない。それは、普段からやっておかなくてはならないこと。 (※町としては、少年団や学校を通じ交通安全の指導を要請するほか、広報にも自転車の交通安全に向けた記事を掲載し啓発を図った)

20	<p>・朝日公園。菖蒲の花が少なくなり、どこを見るのってかんに なっている。きれいに咲かしてほしい。 (同様の意見、いきいきシルバーふれあいトークでもあり)</p>	<p>・観光協会の行事がなくなったりして人の足が遠のいてきた。その分、手もかけなくなってきた。 ・菖蒲園は、羽幌の観光でいい役割をはたしていると思う。いろいろな意見があるが、菖蒲園のありかたについて、きちんとした方向を決めなくてはならないと思っている。</p>
21	<p>・バラ園も花が終わったあとの花ガラがたくさん残っていて残念。花が咲いた後、枯れた花ガラをとらなくてはならない。職員の方は花ガラ摘みに1日中せいっぱいだが手が回っていない。きれいにしてほしい。 ・ボランティアをたのむとか、なにか方法を考えたらいいと思う。</p>	<p>・バラ園は、きれいな花を咲かせるために専門家の指導を受けながら、嘱託職員が管理している。花ガラ摘みも行っているが、対応に行き届かない面があれば今後改善していきたい。</p>
22	<p>【街路樹や植樹柵について】 ・中学校前の通りの街路樹。町の花ツツジが植えられ、とてもきれいだったが、この冬の大雪で、除雪で押されてかなりだめになっている。 ・街路樹は枝払いなどしてきちんとされているが、下のほうは草ぼうぼうでひどい。ツツジは残して、なんとか解決の方法はないか。 ・半分枯れてそのままになっている街路樹がある。枯れたものをそのままにしているのはどうか。 ・街路樹、緑がないとやはり大変だが、毎年剪定してきちんとするのならいいけど、伸び放題になると、電線にもひっかかるし。いっそ木をやめて花にという意見もあるが、難しい。 ・役場前の通りの街路樹の植樹柵。花もなく、さみしい。日赤奉仕団で月1回草取りをしているが、草取りをしたら、緑もなく、花もなく、土だけでまるはだか。ツツジが何本かあるだけ。古丹別の公民館の通りはきれいで気持ちがいい。心がなごみます。 ・そういうところ、草ぼうぼうにならないよう、羽幌町の花ツツジを植えるとか考えてもいいのでは。 ・花木だけではだめで土も足りない。客土しないとだめな植樹柵が多い。 ・役場で無料配布しているコンポスト、そういうところに利用できる。 ・町内会も高齢化で、植樹柵の管理も大変。植樹柵を埋めるという話もあったが、なんとかやろうと花を植えたりしている。</p>	<p>・樹木を大事に育てていこうという気持ちが大切も思う。街路樹がそろっていたり、花がきれいに咲いているところは、気持ちがいい。今、委託になって、改めて、そういうこともきちんとしていかななくてはならないと感じている。 ・街路樹の管理ということでは、冬期間の除排雪の中でも特に配慮しながら作業を行っていますが、改めて指導します。また、パトロールを徹底し、必要に応じて草刈や枝払いをするよう委託業者に指導します。 ・環境美化については、町内会やボランティアなどで取り組まれています。植樹柵は、管理されている箇所がある一方で、管理ができない又は年々管理が難しくなっている箇所も相当数あるので、今後の対応について検討していきます。 ・今、町では総合振興計画を作成している。そこで、街中の緑化計画も計画の中にいれ、総合振興計画という大枠の中でとらえていかななくてはならない問題と思っている。</p>
23	<p>・羽幌町には天売、焼尻があり、フェリーが運航しているが、羽幌を題材にしたいい歌がたくさんある。船の中で流して観光客に覚えて帰ってもらうようにしてはどうか。宗谷岬に行ったとき、宗谷岬の歌を覚えてきた。その土地の歌は観光の目玉になる。</p>	<p>・基本的にはフェリー事業者が判断してやることと思うが、要請していきたい。</p>
24	<p>・消費者協会が高齢化して、活動がなかなか困難になっている。町で、どなたか若い方一人を、消費生活の専門的相談にのれる方を養成してほしい。</p>	<p>・羽幌町として、どの程度まで取り組みができるか考えたい。必要性については、他市町村の状況も見回して考えていくこととした。</p>
<p>8月22日 いきいきジュニア・ふれあいトーク</p>		
25	<p>・羽幌には炭砒跡がある。今、ちまたでは、廃墟ブームで若い人に人気もある。羽幌でも炭砒跡をもっと観光的なことをアピールしたらいいと思う。 親から話を聞いたりして一度行ってみたいと思うが、機会がない。行きやすい環境になるとうれしい。</p>	<p>・ここ10年くらい、産業遺産として炭砒跡地が注目されるようになった。 今は、行ってみたいという声に答えて、ツアー用に少し草刈したりする程度、廃墟のままの姿を見られている。手をかけて、観光産業にもっていくのはなかなか難しい。 今年は観光協会がパンフレットを作って配布したりしている。今の状況で、やれることをやっている。</p>
26	<p>・これから、町長さんの考えとしては、教育に力を入れていくのか、高齢者の福祉に力を入れていくのか、ウェイトはどちらに力を入れた活動をしていこうと思っていますか。</p>	<p>・選択肢は二つだけではない。町として高齢者に対してはいろいろな角度から取り組まなくてはならない現実がある。しかし、一方でその方たちを支えるのはみんな。若い人だ。高齢者を支えるように大きくなっていただきたい。勉強だけでなく、いろいろな意味で。 ・少子高齢が進んでいく中で、みなさんは町の財産です。みなさんの勉強する環境は、北海道とは違う立場で羽幌町がいろいろなサポートをしていかななくてはならないと思っている今。教育か高齢者かではなく、みんなのためにやっていきたい。</p>

27	<p>・リバーサイト整備事業は完了したんですか。 もし完了していないのなら、これからの展望なども聞きたい。 バラ園、芝生との境の黄色い歩道、舗装がわれてがたがたになっている。芝生はえびまつりに使うだけで、ボール遊びとかできなくなっている。</p> <p>整備が大変なのか、作って手をかけなくなって、そのままにしているようだ。芝生を使って遊ばしてほしいし、舗装も直せるならなおしてほしい。</p> <p>見るだけで終わるのではなく、何かできる工夫があつていい。遊べるとか、そこから発展しないのかなと思う。</p>	<p>・リバーサイド事業は羽幌川の切り替え後、もともと川のあった跡地をどう利用していくのかという計画。現実には完結には至っていないが、今策定中の羽幌町総合振興計画の中でも論議していくことになる。</p> <p>・バラ園は、できるだけいい環境にしようと、一生懸命取り組んでいるが、やはり何年かに一度は大々的に、手をかけてきれいにしていかなくてはいけない。1回造ったからには「いいものだね」といつまでも言われるようにしていくのは我々の役目だと思う。</p> <p>・また、住民のみなさんにそこでいろいろなことをやっていただくことで、自分たちのものだ、自分たちで守らなくてはという意識が広まっていく。そういう意識も大切と思っている。</p>
28	<p>・役場から町民に向けて要望を聞くことは何かやっているんですか？紙のアンケートではなく、生の声を聴くことはやっているんですか？</p>	<p>・生の声を聴く機会は私的、公的含め相当数ある。しかし、いろいろな声や考えがあるが、みんなの要求がすべて通るわけではなく、取捨選択しなくてはならない。行政として動くときは、それぞれ担当の課があり、それぞれの産業、業界などとの接触の中でも要望や声を受けている。国からくるお金も町の年間の予算にも限界がある。なにをどういうふうやるかは、いろいろな段階を踏み、議会のOKを得てはじめて決まることになる。</p>
29	<p>・大人になったら羽幌に帰ってきたいという生徒たくさんいるが、就職できるかどうかはすごく不安。役場のほうで雇用対策はなにかしているんですか？</p>	<p>・我々がやるのは雇用対策というより、雇用のための地域の活性化。 役場の中にはいろいろな課があるが、各産業のいろいろな方々と、こうやろう、ああやろうと進めている。 道路をひとつ直すのでもそう。それで、そこで働いている従業員の給料が出る。それが、公共事業をやりながら会社が成り立つという構図。そういうことで雇用が守られる。 企業の誘致とかで、新たな雇用の場をつくるというより、この地域の経済の活性化から、なんとか雇用を広げようという取り組みをしている。</p>
30	<p>・町長は羽幌町をどういう町だと思いますか？</p>	<p>・羽幌は、隣近所、地区ごとにすごくつながっている町。今、人口が減っているが、ある意味、今の人口はまともやすい人口になったと思う。意志の疎通はしやすくなっている人口だ。捨てたものじゃないと思う。 みんなで支えあつて、みんながみんなを心配しあうような、そういう機運も今、羽幌の中にもできつつあると思っている。</p>
31	<p>・なにか、僕たちがしたほうがいいこととかありますか。</p>	<p>・今回、生徒会長が二人来ているが、東日本大震災の義援金の活動など、みんなが自主的に集めようという姿は、大人の世界にも大きな感動を与えた。 みんなが、中学生だからできること、高校生だからできることを、学校内のことはもちろんだけど、外に向けて、お年寄りに対して何かできるとか、自分達より小さい子になにかできるとか、いろいろなことに対して視点を変えてやっていくと何か出てくる。 自分たちで考えてやる気になったことが本物だと思う。</p>
32	<p>・東日本震災は今年的一年の中で一番の大きな事件事故災害になると思う。その義援金がどうなったのかを知りたいのと、その後、羽幌町として特別なことやったのかを知りたい</p>	<p>・義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送っています。 ・町では消防が2班8名、役場から4班8名が支援に行っている。役場職員については石巻市から直接要請があり派遣した。 そういう経験を、どこかでみなさんに話す機会があればと思うが、職員は大変な中で仕事をしてきている。テレビや雑誌で見ても、行った人の報告は生々しい。若い人なりの感じ方があると思うので、工夫して伝えていきたい。 (※羽幌町の東日本大震災への支援について詳細は町ホームページ及び広報にも掲載)</p>
33	<p>・北町公営住宅に住んでいるが、ひどい状態。あそこはいつ取り壊されるのか？</p>	<p>・国の補助をうけ、建替計画に基づいて公営住宅を建替えている。北町は計画の中にはあるが、今建替えている幸町団地の後になる。</p>

9月20日 いきいきパパママ・ふれあいトーク

34	<p>・保育園の先生たちがいつもすごく忙しいのが気になっている。子どもの園での様子とかが知りたいが、連絡帳がない。おたよりのなものでも情報発信してほしい。忙しくてできないといわれたが、もう少し先生たちがゆったり保育できる方法があるといいと思う。</p>	<p>・もっと、保護者と園との関係を強くしたいということと思う。今の保育園の保育士の体制は定められた人数配置で動いているので、保育士が足りないということではなく、新しい人などで慣れない中でということも考えられる。どういう状況でそうなっているのか調べ、工夫してみたい。</p>
35	<p>・転入のとき、家を見つけるのが大変。町内には空き家がたくさんあるので町が間に入ってもらえるといい。</p>	<p>・町のホームページに公営住宅の情報のほかに、一部民間アパートの連絡先を紹介しているが、仲介となると、不動産業との関係からむずかしい。なにかしらの方法がないか考えたい。</p>
36	<p>・出産のときに羽幌の病院では出産できないので、病院が遠く大変でした。</p>	<p>・子育て世代だけでなく大変な問題。地域の安心につながる絶対条件と思っている。医師確保の政策として研究費用の支援など独自の対策もとっている。なんとか少しでも前進するよう最大限の努力をしたい。</p>
37	<p>・転入で羽幌に来た、親戚もいない中、子どもを預かってくれるところがあるといい。子育てを終えた方とかに声をかけてできないか。</p>	<p>・必要性は理解できるが、国の保育に係る制度が変わりつつある中で、これから必然的にでてくる事柄と思うが、今、公的には難しく、民間に期待されると思う。</p>
38	<p>・保育政策について国の政策がというが、政権が変わったら町の考えも変わるのか、町としてこうやりたいという意見はあるのか。</p>	<p>・政権の問題ではなく、今、幼稚園と保育園が本当の意味で一本化できないものかという話にやっとなっている。保育園の保育内容は幼稚園化してきているし、幼稚園は長時間保育が求められ保育園化してきている。以前は福祉と教育で色分けされていたが、今は見分けがつかない状況。保護者のニーズもたくさんある中で、一本化という考えは、今本筋かなと思う。町立保育園ひとつと私立の幼稚園二つというこの町の状況を考えれば、こうあるべきという強烈な目標はできていない。次の世代へどう繋いでいくのかを慎重に考えなくてはならない。</p>
39	<p>・幼保一元化のときは、公立になるのか？</p>	<p>・まだわからない。しかし、制度がどんどん変わる狭間で保育園の建て替えの問題がある。どうするかが一番いいのか、流れの中では幼保一体化についても考えなくてはならない。財政や規模のことも含めて保育園のあり方を考えようと取り組んでいる。結論は今年中に出したいと思っている。基本的立場として、民間の取り組みを圧迫したくないということもある。何が住民の方々のためになるか、負担をかけないでできるかということを含め早急に方針を出そうと今進めている。</p>
40	<p>【子育て支援・親子の遊び場について】</p> <p>・親子で気軽に遊びに行く場所がほしい。1歳をすぎると「あいあいサークル」の対象をはずれ、次の小苺くらぶは2歳からが対象。「うさこちゃん遊びに広場」はあるが週2日だけ。公園などもあるが、天気の良い日はいいが、天気の悪い日は特に行くところがなく困っている。</p> <p>・町の子育て支援事業に参加していて、とてもいいし、ありがたいが、そのほかの日もなにかあるといい。</p> <p>・健康センターでの町の子育て支援事業のない日にその場所を開放してくれてもいい。場所さえあれば自分たちで行って自由に遊べる。</p> <p>・総合体育館にキッズルームあるが、遊べる遊具がもっとあるといいし、年中、年長の子には少し物足りない。アリーナでも子どもを対象になにかできるといい。</p> <p>・児童館があるといい。小さい子から小学生まで毎日解放していて、いつでも自由に行って遊べる場所があるといい。以前住んでいた町にはあったがここにはなくて、いく場所がない。</p> <p>・公民館の空室開放は、わざわざ電話して申し込んでだと使いづらい。</p> <p>・働いているお母さんが多くて、留守家庭児童会(こぐまさん)も子どもが多すぎて、狭い場所でぎゅーぎゅー詰めになって遊んでいると聞く。児童館のようなところがあるといい。</p>	<p>・児童館という呼び方はともかく、気軽に親子で行ける場所ということと思う。いろいろなことを整理して、どのくらいニーズがあるのかも含めて、いろいろな子育て支援のながれのなかで、なにができるか検討してみたいと思う。</p>

11月22日 いきいきはぼろ・ふれあいトーク

41	<p>【新しい火葬場について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火葬場ができた後の維持管理や人員配置はどうなるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・苫前、初山別との3町村で構成する衛生施設組合が事業主体で運営し、業者委託を想定した流れになっている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般公募で人を雇うとかいう考えはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先で新たに人を雇うことはあるかもしれないが、町が直接雇うことはない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・一日に火葬できる数は？ <p>完成後は3町村で使うので、重なることもでてくる。もし混んできても対応できるのか。正月などぶつかることがある。高齢化でこれから増える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の場合午前中、2基それぞれ1回で2回。過去の実績をみても、混んでも1日2体で済んでいる。それも年に数回なので、1日2回で対応できるという想定です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・煙は出るのか。建物は国道からみえる場所か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・煙はほとんど出ない。大気汚染の防止等の考えから、煙は出ない。以前のような高い煙突もない。建物は国道からは見えるが、外観もきれいで今までよりもイメージアップされている
	<ul style="list-style-type: none"> ・供用開始は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年8月の予定です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットの料金などは決まっているのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・3町村で協議しているところです。
	<p>【津波などの災害対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波などの災害が発生したら、保育所が一番危ない位置にあると思うが、安全な場所に移転、新築の考えはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所については、災害に対してということだけでなく、老朽化ということで、ここ数年論議を重ね、話し合いを進めている。 ・津波などの災害について、羽幌町は道から津波避難計画のモデル地区に指定されて、避難計画の策定を進めているところです。避難するために、どう自分たちを守るのかを国や道や専門家も交えて、これから一般の方々も交えて計画を立てようと今、進めているところです。
42	<ul style="list-style-type: none"> ・町民を交えた場ではかなり煮詰めたことが出るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内会から代表を出してもらい、どう避難したらいいのか図上訓練をやろうとしています。今回は、今年3月、大震災直前に作成したハザードマップの津波想定ということでやります。今、道が改定作業に入っているので、今回はこれで作り上げて、この後、道の改定作業が終われば、もう1度改定することになりますが、またみなさんと一緒に考えていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの説明会の後で大震災となった。避難には地域性が大切。道路の確保が大切。川北だとどこへ逃げればいいのか。道路は1本しかない。高台へ逃げるのは1本。南へ逃げるには大きな橋を渡り、羽幌で一番低い場所を通らなくてはならない。町はどの程度研究しているのかと気にかけていたが、町民に知らせるときは、地域によって細かく避難路を指示してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的にはどこの地域もすぐ簡単に高いところへ逃げるのは想定できない。さあ逃げなさいではなく、逃げるときのソフト面までもトータルに考えなくてはならない。 ・町内のところどころに海拔何メートルを示すことで、住民に喚起することも大事。住民のみなさんの意見をいただきながら、より安全な避難計画をみなさんとつくりあげていきたい。
43	<ul style="list-style-type: none"> ・風力発電事業の関係で管内の市町村長が集まったと新聞で聞いたが、どういう方向へ行くのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンクが、震災後の原発の状況を見ながら、この地域、道北の日本海側が風力発電に最適な地域だと注目している。先日、構想などを説明をしに稚内から増毛までの自治体を回ったところ。まずは市町村長が集まって話をすることが決まったということです。買取価格や送電線の要量など課題はいろいろとある。
44	<p>【特別養護老人ホームについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しあわせ荘が新しくなり110床だが、待機者がたくさんいる。民間施設もあるが、まだ必要ではないのか。待機者の解消ふくめ今後の方向を聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度は、居宅介護を目指した制度だが、やはり施設介護が求められている。しかし、今の介護保険法のもとで施設をつくらうとすると人数制限があり、増床は簡単ではない。 ・今は110床とショートステイ11床で121床。介護保険法のもとで、介護保険法の補助を受けるには、60とか80床で、従来までの数を確保するために、補助ではなく町単独で基金や起債等で建設した。現在の数は本町の考えられる最大限の数で、国は、待機者がいても居宅介護を前提とする考えなので、現在では増床は認められていません。

	<p>・自治体として国に要望はしないのか。今後も高齢化が進めば、施設介護の要望は増えていくと思う。国としてはお金がかかるから施設介護は進めたくはないからおさえたいのだろうが、、、。</p>	<p>・実際は、待機者が多い現状だが、今のところ医療施設や民間の介護保険施設になんとか収容されているのが現実です。制度は3年に1度見直しが行われる。見直しの中で保険料や介護度の変更をするが、介護に使われる予算が増えている状況です。</p> <p>・町民のみなさんから、介護保険料を徴収しているが、介護サービスが増えると、当然、介護保険料、集める額にも跳ね返ることになる。</p> <p>羽幌町では特老は町営ということもあり、ニーズにあったサービスの展開を心がけている関係から、可能な限り低く抑えています。保険料がたくさん集まれば入所料金も下げることができるし、働いている人の給料も上げることのできる可能性はある。しかしそうすると、皆さんから月々集める介護保険料が増える可能性もある。</p> <p>・介護の施設やサービスを充実すればするほど、個々に支払う介護保険料が上がる現実もあるのです。</p> <p>・現実には介護の必要な方は増えている。そんな中で今、民間が増えている状況もある。民間と公的なものトータルで考えなくてはならないと思う。</p>
	<p>・「萌」と「しあわせ荘」では入所の料金は違うのか。</p>	<p>・「特別養護老人ホーム」という種類と、「萌」さんでやっている栄町の施設と、南町の施設は種類でいうと、介護関係の施設だが全部、種類が違うし料金も違う。</p>
	<p>現実にはこれだけ老人が増えたら、みんなで負担して運営していかないと将来的に維持できなくなると思う。今のうちから少しずつ負担をふやして、もう少し多くの人間を収容できるようにしていかないと進んでいかないのでは。</p>	<p>・医療費もそうだが、介護状態や病気にならないための自衛策とか、医療や介護に通じるが「自分で自分の健康を守るんだ」という意識を強くもつことも大切と言えます。</p>
45	<p>【道立羽幌病院の医師確保の対策について】</p> <p>・道立病院はもったいなあとと思う。医師確保の対策はどうなっているのか。</p> <p>・一時期、道は道立病院の指定管理制度の導入を言っていた。今はどうなったのか。</p> <p>・ほかの市町村とも連携とれるのでは。市町村がもっと団結力して、周りの医師との連携をもち、たとえば医師がいなくても、看護師や保健師を活用してできることがもっとあるのではと思う。保健指導もあるが、現在の技術の活用の仕方ある。</p>	<p>・1年中、やれることは何なのかとやっている。道外にも目を向けている。医師確保という点で、天売焼尻という離島をかかえていることから、離島医療に情熱をもっている方々に来ていただいているのはありがたいと思っている。道立病院が機能しなくてはこの地域全体に影響があると思って取り組んでいる。医師確保のために整備した町の支援制度も活用している。</p> <p>・今の状況では全く可能性はない。あればそうなるかもしれないが、今はない。</p> <p>・道立病院はセンター病院ということで、2次医療をになっただけでいいから、北は天塩までが範囲だが、中北部で医療対策協議会をつくりながら何度となく話し合い、道に要望している。</p> <p>・道立病院と留萌市立病院と旭川医大で連携し、光回線を使って試験的なことはやっているが、まだうまく動いていない状況です。</p>
46	<p>・今問題になっているTPP。おろろん農協も反対している。21部門あるが、農業が一番だが、それ以外に羽幌町で関わること、町長としてはどう臨んでいるのか。</p>	<p>・TPPについては、町村会など、組織として動いている。動きとしては、反対の要請活動をしている。農協とも話しをしたが、農家の問題がやはり大きい漁業も無視できない状況と考えている。</p>
47	<p>・しあわせ荘で働いている若い職員の給料が安くてかわいそう。なんとか良い方法はないのか。</p>	<p>・指定管理者制度による雇用の関係から、給料は社会福祉協議会で決めることであり、町で決めることではないのでご理解願いたい。</p> <p>・福祉や医療分野の給料が安いのは、国でも大きな問題となっており、3年前の介護保険の見直しの際、介護職員の給料を上げるための交付金などがあつた。今、若い人がなかなか職につけない中、羽幌でも介護関係の求人はけっこうある。しかし、給与面がついていかないのも現実。社会福祉協議会と話をすることで課題としていきたい。</p>

48	<p>・健康増進とか健康保持、体育や社会教育を含めて、町はどういう取り組みをしているか。</p> <p>・町としての取り組みが少ないと思う。禁煙活動などもそう。役場としての禁煙活動、少ないと思う。</p>	<p>・軽スポーツ含めて、町直営ではなく委託している部分もあるが、社会教育振興計画の中で、また、保健活動などでは保健事業計画の中で取り組んでいる。</p> <p>・町民にわかりやすいデーターをそろえて論議するのも大切かと思う。ひとつの意見としてお聞きします。受動喫煙の問題が大きいと思う。</p>
49	<p>・高台の産業廃棄物の施設がストップして、もう利用できないと聞いた。これからどうなるのか。もう少し早めになんとかできなかったのか。</p>	<p>・どういう行き違いかはわからないが、産業廃棄物施設の埋め立て計画量にすでに達していると留萌振興局から話を聞いている。いろいろと改善の指導が入ったが、それに従って事務的手続きをすることになる。まだ、聞いたばかりのことで、建設協会や道と今後の対応をこれから協議していきます。</p>